田中舘愛橘（1856-1952）

Tanakadate-A.

写真：文化勲章受章時（昭和19年4月29日）題字：氏名サインとも田中舘愛橘自署より

田中舘愛橘会 会報52号

（たなかだてあいきつ）岩手県二戸市出身の物理学者。日本の理科系諸学の基礎を築く。文化勲章。文化人切手。東大教授。貴族院議員。地球物理学の研究、度量衡法の確立、光学・電磁気学の単位の研究、航空学・気象学の普及などに功績。日本式ローマ字論者。

新会長ご挨拶

田中舘愛橘会第三代会長　工藤　武三

去る26年1月、田中舘愛橘会会長小保内岩吉様の突然のご訃報に接し、驚きとともに愛橘会のみならず地域にとりましても大きな支柱を失うこととなりました。
改めて小保内前会長の御霊の安らかなることをお祈り申し上げます。
愛橘博士の命日である5月21日の総会において後任の会長を仰せつかりました。
浅学菲才の身ではありますが、小保内前会長の思いを受けて、これまでの輝かしい実績を誇る田中舘愛橘会の運営に組んでまいりたいと思っておりますので皆様の更なるご支援とご指導を切にお願い申し上げます。

田中舘愛橘会は昭和61年、私たちが愛する郷土二戸市が誇る傑出した人物である田中舘愛橘博士の功績を後世に伝えていくことの重要性が認識され、地域有志により設立されました。以来会員の皆様や初代会長に就任された丹野幸男様の強い意志、使命感に支えられて長きにわたり博士の顕彰活動を続けてまいりました。
博士に係るそれぞれの節目の折には世界的にも著名な博士ゆかりの講師による講演会・セミナー等の開催、事績をたどる調査研究活動は海外までおよび、その活動の集大成として田中舘愛橘記念科学館建設の原動力となりました。
2代目会長　小保内岩吉様には博士と身近に接した体験をもとに博士のお人柄が忍ばれるエピソード等も伺いましたが記録保存できればと残念に思われます。
また　博士の銅像建立につきましても特別の思いをお持ちでしたので、このことをふまえて、今後関係の皆様といろいろとご相談申し上げ前向きに検討してまいりたいと思っております。（以下次ページへ続く）

（前ページより続き）

＝シビックセンターの更なる魅力づくりと銅像建立に期待＝

歴史と文化の街二戸市。そのシンボルであるシビックセンターの更なる魅力づくりと発信力を高め、“二戸市PRはシビックセンターから” を市民そして来訪者に定着できれば、「歴史と文化の街」二戸市のイメージUPにもつながるものと期待されます。

二戸市来訪の皆さんを田中舘愛橘博士の銅像が歓迎するお姿に、来訪者の笑顔も一層弾けることでしょう。

田中舘愛橘記念科学館・福田繁雄デザイン館等シビックセンターの更なる充実と相まって地域の発信力を高め、地域おこし　街づくり事業としての効果も大いに期待されるところです

愛橘会の運営も厳しい環境ですが、新会員の募集等組織強化を図りながら顕彰活動につとめてまいりますので皆様のより一層のご支援をお願い申し上げます。

田中舘愛橘会会長　工藤　武三

小保内会長ありがとう。安らかにお眠り下さい

誠に悲しいご報告です。平成２６年１月４日、小保内岩吉会長が、病のため亡くなられました。突然の訃報は当会会員のみならず、二戸市内外の多くの人々に驚きと悲しみを持って受け止められ、深い嘆きに沈みました。

昨年秋のシビックセンター主催による「ローマ字書道大会」では、当会代表として、審査委員長を務められました。その頃はお元気で、子ども達の力作に目を細めながら「みんな上手で選べねぇなぁ」と嬉しそうに笑っておられましたが、そのお姿が最後となりました。

晩秋の頃に入院されたが、お正月は自宅で迎えると伺い、退院も間近と思って居ただけに本当に残念でなりません。これまでの愛橘会への多大な貢献は申し上げるまでもなく、これからのますますご活躍戴けると大きな期待を

集めていただけに、驚きと悲嘆の声が続きました。
お葬式には当会として生花を献花させて戴いたほか、副会長をはじめ主な関係者が参列し、当会への多大なるご貢献に感謝を申し上げお別れを致しました。

生前の田中舘先生を誰よりも身近で知るお一人だった小保内さんは、まるで愛橘先生が乗り移られたかと思うような身振り手振りと、あたたかい方言で、数々のエピソードを語って下さいました。その言葉のひとつ一つに深い敬愛の気持ちがあふれていて感動させられたものでした。二度とあのお話が聴けないことは残念でなりません。

愛橘会にとって誠に大きな存在であった、前会長小保内岩吉様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

新役員ご紹介　新役員が選出されました

5月21日に行われた総会におきまして、任期満了に伴う役員改選が行われました。
新役員は以下のとおりです。(あいうえお順)

会　長	工藤　武三			
副会長	小保内　道彦	國分　嚴士郎	菅原　孝平	
理　事	大西　武夫	川又　明男	菅　陽悦	小松　務
	佐々木　裕子	生内　雄二	田中　利見	丹野　明法
	千葉　謙治	冨田　喜平司	中村　誠	山本　茂
監　事	佐藤　純	馬場　正弘		
顧　問	丹野　幸男			
事務局	中村　誠			

任期は、平成26年4月1日(26年度)から平成28年3月31日(27年度)までの2年間となります。 なお、会則6条の2により、以降の再選を妨げません。

総会報告　平成25年度決算承認、平成26年度事業について

平成26年5月21日二戸市シビックセンターホールにおきまして、田中舘愛橘会総会が行われました。小保内岩吉前会長の死去に伴う新会長の選任および役員改選、25年度の決算報告と承認、26年度事業計画の承認が行われ新体制が始まりました。また、田中舘博士の銅像建立につきましては理事会決定事項として、新会長の下、引き続き建立実現に向けて活動を進めることが確認されました。
また、当日は金田一歌の集いの皆さんによる献詠や、慶応義塾大学教授ハンス・ヨアヒム・クナウプ教授による講演会、等が行われました。

平成25年度会計決算(単位:円)

収入の部　繰越金 66,226 会費 360,000 寄付金・雑収入 78.021
合計 **504,247**

支出の部　事務局費 120,000 総会費 81,150 印刷費 43,200
手数料 9,640 通信費 39,030 会議,事務消耗品等 54,116
合計 **347,136**

差引残高　504,247－347,136＝157,111　繰越金 157,111円

平成26年度会計予算(単位:円)

収入の部　繰越金 157,111 会費 330,000 寄付金・雑収入 33,000
合計 **520,111**

支出の部　事務局費 120,000 総会費 55,000 会報印刷 40,000
手数料 10,000 通信費 39,030 会議,事務消耗品等 75,000
合計 **339,030**

差引残高　520,111－339,030＝181,081

会報遅延のお詫び　(事務局長　中村誠)

会報52号の発行が大幅に遅れました事心よりお詫び致します。今回は諸事情により変則の発行となりました。会員の皆様には、銅像の建立実行という大事な時期に情報提供が出来ずご迷惑をお掛けし申し訳ありません。なお、事務局は銅像建立実行委員会の事務局も兼ねておりますので、寄付関連などの対応も致します。お気軽にお尋ね下さい。

田中舘愛橘会会員数　176名（27年12月現在）
田中舘愛橘会　会報(52号)
会報発行　年1回　7月発行予定
発行所　田中舘愛橘会　会長　工藤　武三
編集　中村　誠

〒028-6103　二戸市石切所字荷渡6-2
二戸市シビックセンター内
TEL　0195-25-5411　FAX　0915-23-3548
振替口座　０２３５０－８－１８８４１
印刷所　沢倉印刷株式会社